

白山ふるさと文学賞

第三回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

中高校生作文の部 優秀賞

職場体験で学んだこと

鳥越中学校二年

藤本 ふじもと

胡桃生 ことき

七月二十四日、二十五日、二十八日に、職場体験がありました。私は、ケアハウス鳥越という老人ホームで三日間、働かせていただきました。

一日目の朝、私は緊張と不安で胸がいっぱいでした。同じ職場先の二人の子と集合し中に入りました。二人も緊張した様子でした。まず、私を指導してくださる担当の方と施設長、そして他の職員の方々にあいさつをしてみました。どの方も優しく接してくれました。九時からラジ操体操をしました。そのとき初めて入居者の方を見ました。思っていたよりも元気だと真っ先に思いました。施設の説明をしてもらったあと、花の水替えや厨房の手伝い、昼食後に避難階段そうじなどたくさん働きました。この日、一番心に残った出来事は、休憩時間に入居者の方たちの部屋に行ったことです。そこでみなさんからたくさん面白い話をきかせてもらい、とても楽しい時間を過ごせました。また、入居者の方一人一人が色々な事に挑戦し、日々頑張っていることも聞きました。私はそれを聞いて感動しました。自分もそういう所を見習わなければいけないと思いました。

二日目は朝からとても忙しい日でした。入居者の方たちが買い物をするため、バスで松任イオンへ向かいました。そこで入居者に同行し、買いたいものを一緒に探したりしました。帰りは入居者の方の荷物を運んであげました。「ありがとう」とたくさん言われました。私は、言葉が出ないほど驚き嬉しい気持ちになりました。一番楽しかった出来事は、入居者とコミュニケーションをとるためにゲームをして遊んだことです。入居者の方たちに混ざって一緒にトランプをして遊びました。この時間は三日間で一番入居者の方と会話ができた時間でした。また、一番幸せな時間でもありました。まるで家族のように仲良く話せました。とても楽しそうに笑っているみんなを見て、とても安心したし、心が温かくなりました。この時間ですっかり仲良くなり、見かけたら手を振ってくれるようになりました。とても良い経験だと思いました。

三日目は最終日だったので、この日は今まで以上に一生懸命頑張ろう

と思えました。まずは食中毒予防のポスターを作りました。その仕上がったポスターをとっても目立つ場所にはつけてくれました。あのポスターを見て、入居者の方たちが私たちのことを少しでも思い出してくれると嬉しいです。この最後の昼食は、カツカレーでした。とてもおいしくて感謝していただきました。昼食後の休憩時間に、施設内全体の掃除をしました。三日間大変お世話になったその感謝の気持ちをこめてすみずみまでいねいに掃除をしました。帰りのときに職員の方全員にあいさつをして、みんなに見送られて職場体験を終えました。

ケアハウス鳥越は私にとって第一希望の場所ではなく、第二希望の場所でした。だから不安はとても大きかったです。でも、今回ケアハウス鳥越で職場体験をして、「ここで良かった」と強く思いました。私は少しお年寄りと話するのが苦手だったけれど、職場体験を終えるともうそんな気持ちはなくて、お年寄りのことが少し好きになれた気がしました。私には、祖母がいるので祖母のことをこれからも大事にしたいと思えました。そして、職場体験で学んだことはコミュニケーションをとることが難しい事、その大切さ、そして人の役に立つことが素晴らしいことです。コミュニケーション能力は将来とても必要だと感じました。そして私は、人の役に立つことがこんなにも嬉しいことだということを前は全く知りませんでした。今回よく分かりました。これらの学んだことを活かして、いろんなことに挑戦してみたいと思いました。

私は、明るく元気な入居者の方たちと、優しく接してくれた職員の方々と出会って、ケアハウス鳥越で三日間過ごすことができて良かったです。この体験をしていろんな事を考えることができました。将来のことを今からでも考えていこうと思えました。もし、ケアハウス鳥越にまた訪問できる機会があれば、ぜひ行きたいです。職場体験で感じたことや学んだことをこれからも忘れずにいたいです。